

この資料では、SpamTitan バージョン7.10のリリースノートの内容を説明します。

アップデート バージョン	バージョン 7.10
配布日(日本国内配布日)	2021年 4月 20日
アップデート方法	オンラインによるアップデート
アップデートに必要な条件	1 Ver 7.09へアップデートが完了していること。
	2 インターネットへ接続していること。
	3 アップデートのリトリブ(ダウンロード)が完了していること。
	4 主記憶が最低4GB 確保されている事。(V7以降)
	5 受信キュー・アクティブキューにメールが滞留していないこと。
	6 MTAからのメールリレーを止めている事。
	7 できる限り、最新バージョンのブラウザをご使用下さい。
アップデートに必要な時間	約 10分~20分程度(サーバ性能による)

サービス停止	あり
サービス停止時間	約 5分弱+再起動時間
メッセージのロスト	なし
作業中のメール受信	一時的に不可

システム自動再起動	なし(各サービスの再起動あり)
システム再起動時間	約 5分程度(ストレージの規模による)
ユーザーによる再起動	必要(update完了後)
システム設定の継承	あり

注意点

- このアップデートを適用すると、これまで保存してきたバックアップファイルが使用できなくなります。バックアップファイルが同一バージョンでのみ適用可能である事は、本製品の仕様となります。
- メールの処理が停止する為、メールリレーは極力止めるようにしてください。
- アップデート作業中は、外部の送信者がメールを送信すると、送信者のSMTPサーバが送るべきメールを再送信キューへ一時保管し、特定時間毎に5日程度まで再送信を試みるため、そのメールはアップデート作業完了後に受信する事ができません。
- クラスタシステムの場合は、全てのノードを同一バージョンへアップデートする必要があります。
- アップデート作業中は、絶対にシステムの再起動を行わないでください。ベースOSのアップデートが含まれる為、必ず故障し、またリモートサポートでも修復不可能となります。

新機能

- 2要素認証が有効の場合、アンチスパムエンジン>ユーザポリシーでログインする場合において2要素認証の使用/使用しないの選択が可能となりました。
- TLS設定画面において、TLSの古いバージョンを有効/無効の選択ができるようになりました。
- ダッシュボードのレポートンググラフの表示が見やすく改善されました。

アップデート

- ダッシュボードのレポートンググラフの表示が見やすく改善されました。
- メール履歴の表示パフォーマンス(速度)が改善されました。高トラフィック状態でもすぐに表示されます。
- PHPフレームワークバージョンが更新され、いくつかのセキュリティ脆弱性も改善されました。

次の脆弱性に対応しました

1	OpenSSL: CVE-2021-23841, CVE-2021-23840, CVE-2020-1971
2	Sudo: CVE-2021-3156, CVE-2021-2323
3	Python: CVE-2020-15801, CVE-2020-15523, CVE-2020-14422
4	PHP: CVE-2021-21702, CVE-2020-7071, CVE-2020-7070, CVE-2020-7069

その他セキュリティパッチ

1	SQLインジェクションの脆弱性によるデータベースがダウンする問題に対応しました。
2	メールを見るときにおける潜在的なクロスサイトスクリプティング(反映した)の脆弱性に対応しました。
3	検疫レポートページ内のリンク管理の問題に対応しました。
4	ドメイングループ管理者がいくつかのメールが見えないという問題に対応しました。
5	クロスサイトスクリプティング(XSS)の脆弱性による無効なコンテンツタイプとなる問題に対応しました。
6	フィルタールール内のインセキュア・ダイレクト・オブジェクト参照(IDOR)の脆弱性に対応しました。
7	非認証でグラフ生成にアクセスすることはできなくなりました。
8	いくつかのユーザーが非認証でログファイルを取り出せる問題が修正されました。
9	DNS参照ツール内におけるコモン・インジェクションの脆弱性に対応しました。

バグ修正

1	検疫管理や、履歴画面でのメール参照の処理時間が改善されました。
2	“Lets Encrypt”自動認証の更新の問題が改善されました。
3	UI内の大きなメールキューの処理における問題が改善されました
4	Outbound Disclaimersエディター内においてUnicode文字がサポートされました。
5	紛失した設定もバックアップに加えられます。
6	設定後でもAPI経由でユーザのファースト名・ラスト名の設定追加ができるようになりました。
7	アンチスプーフィングプラグインの問題が改善されました。
8	無効認証の管理の問題点が改善されました。
9	APIで追加したドメインの削除、UIによる削除の問題点が改善されました。
10	許可リストとブラックリストでエントリーの正しい番号が表示されるようになりました。
11	ダッシュボード上のCPU温度が正しく表示されるようになりました。
12	既存のエントリーを含んだ許可・ブラックリストの取り込み性能が改善されました。
13	キャッシュや間違ったリターン値に関係するマイナーAPI問題が改善されました。
14	パターンフィルターメタールの生成時における問題点が改善されました。
15	ダッシュボードとレポートページ間におけるメモリ使用率の不整合問題が改善されました。
16	アマゾンS3バックアップが失敗する場合がある問題点が改善されました。
17	低速SMTPサーバでシステムヘルスチェックが失敗する問題が改善されました。
18	SASL LDAPクエリーを使ったアンパサンド(&)問題が改善されました。
19	許可ネットワークが時々クラスタ間で同期しない問題が改善されました。
20	ドメインのLDAP受信者認証の削除ができない事で、時折MTAミス設定となる問題が改善されました。
21	いくつかのケースでメールの読み込み権限が無効にできない問題が改善されました。
22	アンチスプーフィング設定において、多数の編集と保存が正常に働かない問題が改善されました。
23	レポート>履歴でリレーアクセス違反が正しくロギングされない問題が改善されました。

アップデート経過ログ例

[192.168.101.249] Install revision 7.10

```
001: Install System Update 7.10 started ...
002: Current Version: 7.09
003: Searching for unapplied updates from 7.09 to 7.10
004: Installing System Update 7.10
005: Starting Installer ...
==== This may take several minutes depending on the speed of your system.
==== DO NOT REBOOT THE APPLIANCE DURING OR DIRECTLY AFTER THE INSTALLATION.
* Stopping postfix
* Stopping amavisd
* Stopping ClamAV
* Stopping st_milter
* Stopping Bitdefender
* Stopping postgresql
* Stopping Redis
* Stopping Queue Workers
* Installing patches
.....
.
.....
.
.....
* Starting postgresql
* Database updates...
* Starting Redis
* Starting BitDefender
* Starting ClamAV
* Starting amavisd
* Starting st_milter
* Starting postfix
* Starting Queue Workers
Updating SpamAssassin, BitDefender and ClamAV databases.
001: Ruleset Marketing up-to-date (304 Not Modified)
002: Ruleset Fraud up-to-date (304 Not Modified)
003: Ruleset 30_Spamtitan up-to-date (304 Not Modified)
004: Ruleset NSFW up-to-date (304 Not Modified)
005: Ruleset 99ST up-to-date (304 Not Modified)
006: Ruleset KAM up-to-date (304 Not Modified)
007: Ruleset Updated Scores up-to-date (304 Not Modified)
008: Ruleset Adult up-to-date (304 Not Modified)
009: Ruleset Bayes Poison up-to-date (304 Not Modified)
010: Ruleset Headers up-to-date (304 Not Modified)
011: Ruleset HTML Coding up-to-date (304 Not Modified)
012: Ruleset Random up-to-date (304 Not Modified)
013: Ruleset Specific up-to-date (304 Not Modified)
014: Ruleset Spof up-to-date (304 Not Modified)
```

014: Ruleset Spoof up-to-date (304 Not Modified)
015: Ruleset General Subject up-to-date (304 Not Modified)
016: Ruleset Unsubscribe up-to-date (304 Not Modified)
017: Ruleset Tripwire up-to-date (304 Not Modified)
018: Ruleset Bogus Virus Warnings up-to-date (304 Not Modified)
019: Ruleset Sober-P updated
020: Ruleset Surbl-New updated
021: Ruleset CF-misc up-to-date (304 Not Modified)
022: Ruleset Sare Evilnumbers up-to-date (304 Not Modified)
023: Ruleset Stocks up-to-date (304 Not Modified)
024: Ruleset Redirect up-to-date (304 Not Modified)
025: Checking for SpamAssassin rules updates
026: SpamAssassin rules updated
027: Validating Rulesets...
028: success
029: Compiling Rules...this may take a few minutes
030: success
031: Loading updated Rulesets...
032: success
033: Done.
Tue Apr 20 15:10:52 2021 -> ClamAV update process started at Tue Apr 20 15:10:52 2021
Pruning unwanted or deprecated database file safebrowsing.cvd.
Tue Apr 20 15:10:52 2021 -> daily.cld database is up-to-date (version: 26145, sigs: 3971314, f
Tue Apr 20 15:10:52 2021 -> main.cvd database is up-to-date (version: 59, sigs: 4564902, f-lev
Tue Apr 20 15:10:52 2021 -> bytecode.cld database is up-to-date (version: 333, sigs: 92, f-lev
amavisd is not running.
Stopping clamav_clamd.
Waiting for PIDS: 13794.
Stopping milteropendkim.
Waiting for PIDS: 13772
.
Status of SpamTitan Milter Daemon:
Process running with pid 13837

Stopping SpamTitan Milter Daemon: Process found, stopping
Stopping bdamsver.
Waiting for PIDS: 13796
.
Stopping redis.
Waiting for PIDS: 13757.
Starting redis.
Starting milteropendkim.
Starting clamav_clamd.
Starting amavisd.
Starting SpamTitan Milter Daemon: No process found, starting up
st-maillogmon started
Performing sanity check on openssh configuration.
Stopping openssh.
Waiting for PIDS: 13939
, 13939.
Performing sanity check on openssh configuration.
Starting openssh.
Queue Workers started
Broadcasting queue restart signal.

Starting cron.
Please stand by...
Done. Installation Complete.
006: OK

